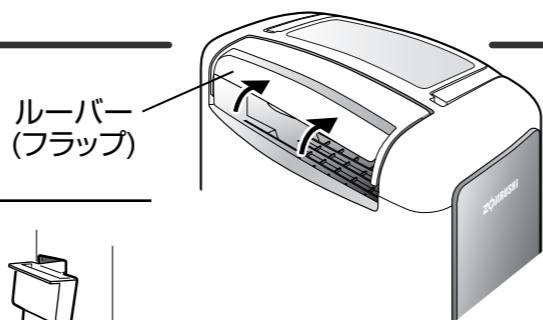


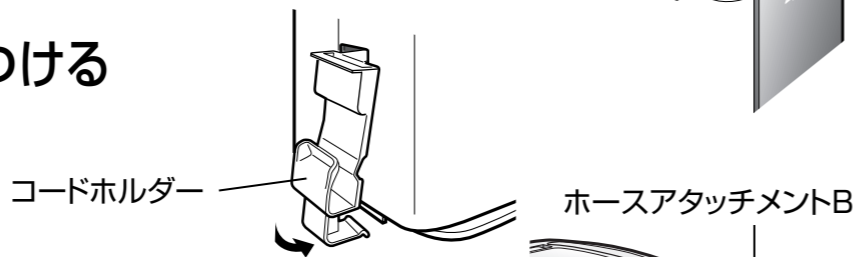
ふとん乾燥運転

1 ルーバーのフラップを開く



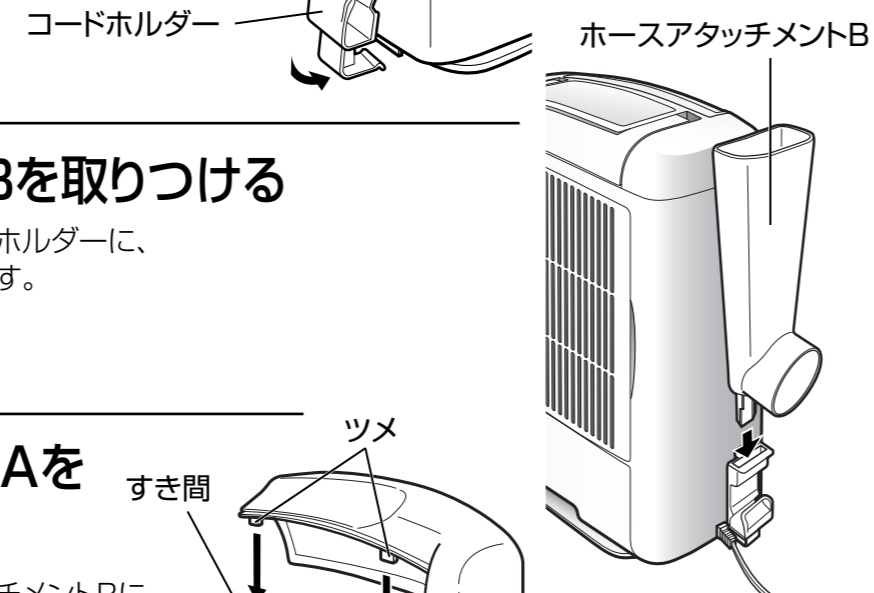
2 コードホルダーを取りつける

(P5「電源コードの収納」参照)



3 ホースアタッチメントBを取りつける

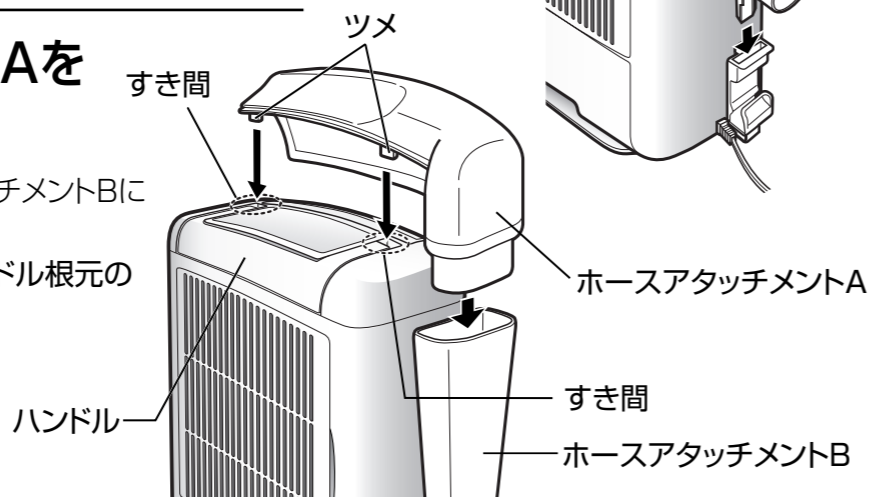
図のように、本体に取りつけたコードホルダーに、ホースアタッチメントBを差し込みます。



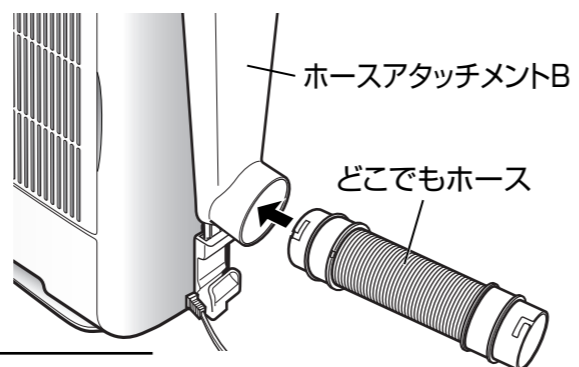
4 ホースアタッチメントAを取りつける

ホースアタッチメントAをホースアタッチメントBに差し込みます。

(ホースアタッチメントAのツメを、ハンドル根元のすき間に合わせ取り付けてください。)



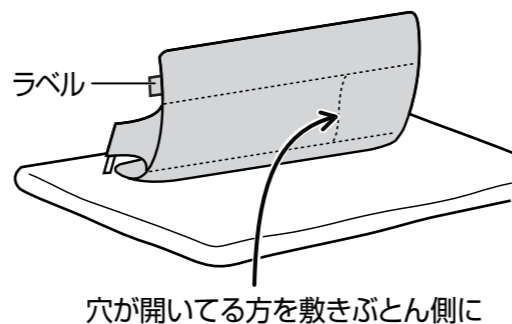
5 ホースアタッチメントBにどこでもホースを取りつける



6 ふとんにふとん乾燥マットをセットする



●マットには上下があり、ラベル表示がついています。間違えないように注意してください。
(穴の開いている方を敷きふとん側にセットしてください。)

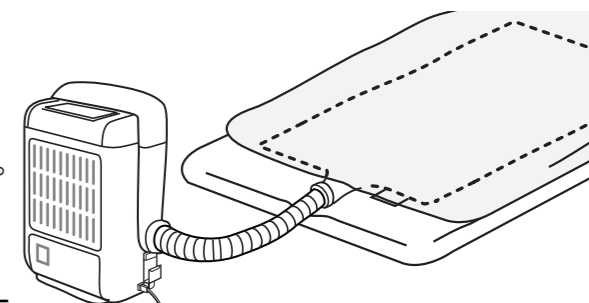
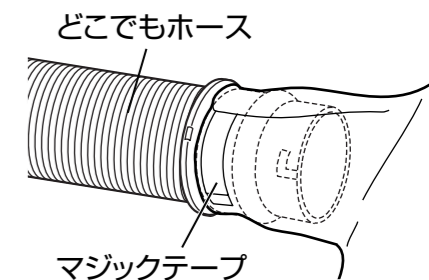


7 ふとん乾燥マットをどこでもホースに取りつける

ふとん乾燥マットの口にどこでもホースの先端を差し込み、マジックテープでしっかり止めます。

注意!

- ふとん乾燥マットの口が折れないようにしてください。
- ふとん乾燥マットが折れた状態で運転しないでください。
- 吸込口をふとんでふさがないようにしてください。



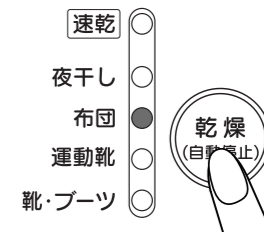
8 差し込みプラグをコンセントに差し込む

9 「運転入/切」キーを押す



10 「布団」コースを選択する

運転開始後約3分間送風し、その後温風が出ます。



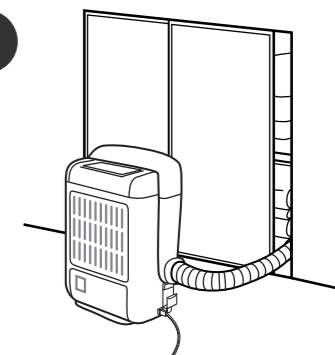
ふとん乾燥時のご注意!

- ふとんの種類(羽毛、羊毛など)によっては、使用出来ない場合がありますので、ふとんの注意表示をご覧ください。

どこでもホースの使い方

どこでもホースを使用すると、押し入れ・クローゼット・くつ箱・浴室・流し台など湿気のたまりやすいところへ、乾燥した空気を集中的に送風できます。

- どこでもホースを使用する場合は「布団」コースを選択してください。



ご注意

- どこでもホースやホースアタッチメントを持って製品を動かさないでください。
- どこでもホース先端がふさがれていると、安全装置が働く場合があります。
- どこでもホースやホースアタッチメントの取り付け、取りはずしは必ず運転を停止している状態でおこなってください。
- 布団コース運転開始後、約2時間を経過すると自動で停止します。
- ふとんの種類や状態によっては、上記時間でも乾燥が不十分な場合があります。

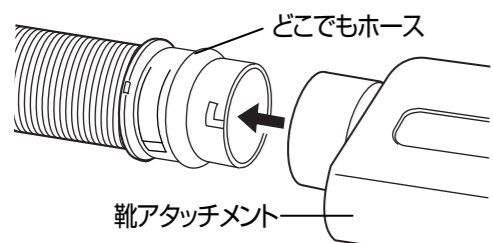
靴乾燥運転

- 効果的な使い方**
- 雨でぬれた靴やブーツなどは、あらかじめ乾いた布で水分を取ってから乾燥させると効果的です。
 - 運動靴のひもは結び目をゆるめ、靴の内側に入れて乾燥すると効果的です。

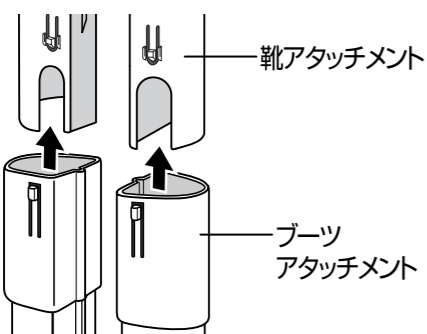
1 ホースアタッチメントにどこでもホースを取りつける

(P10「ふとん乾燥運転」5のイラスト参照)

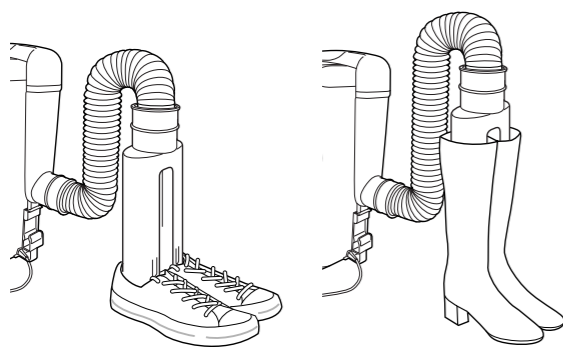
2 どこでもホース先端に靴アタッチメントを差し込む



3 靴アタッチメントにブーツアタッチメントを取りつける (ブーツを乾燥する場合)



4 靴またはブーツをセットする



- 靴アタッチメントおよびブーツアタッチメントには「つま先側」「かかと側」の表示がありますので表示に合わせてセットしてお使いください。

5 差し込みプラグをコンセントに差し込む

6 「運転入/切」キーを押す

7 靴・ブーツの素材と種類に合わせて、乾燥コースを選択する

「乾燥」キーを押して、それぞれのコースに合わせます。

コース選択	「靴・ブーツ」コース	「運動靴」コース
素材	熱に弱いもの (革・合皮・ビニール製品など)	比較的熱に強いもの (布地製品など)
種類	ビジネスシューズ・ ブーツなど	運動靴・上履きなど
温風温度	約40℃	約55℃
運転時間	約2時間乾燥運転の あと、自動停止	約1時間乾燥運転の あと、自動停止

ご注意

- 革・合皮・ビニール製の靴やブーツは温風を当てると変形・変色する場合がありますのでご注意ください。
- 靴やブーツの形状によってはアタッチメントが取り付けられない場合があります。無理に取り付けると変形の原因になりますのでおやめください。
- 靴やブーツを乾燥時、消臭スプレーや防水スプレーを使用しないでください。故障の原因になります。
- 靴やブーツのぬれ具合や種類・素材・室温・湿度によって乾燥時間は変化します。乾燥が不十分な場合は、もう一度運転するか、あらかじめタイマー運転をしてください。
- 靴やブーツの取り扱いについて、特に注意書きのあるものは、注意書きの内容にしたがってください。

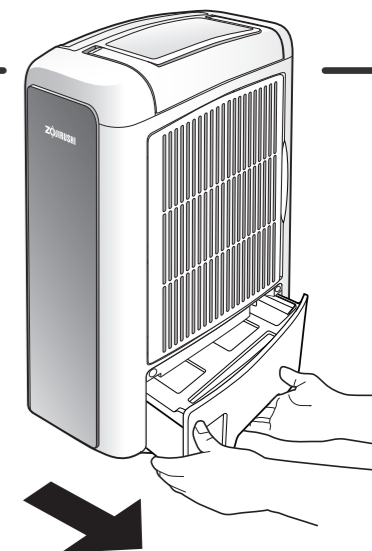
排水のしかた

1 タンクを取り出す

タンクを両手で支えて水がこぼれないように、ゆっくり引き出します。

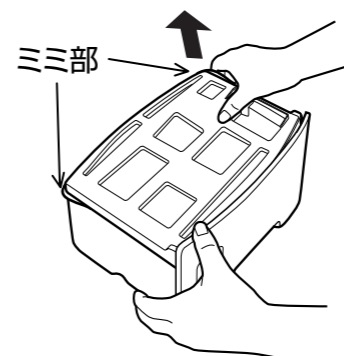
- 運転中にタンクをはずすと自動的に運転が停止します。
(「ビピッ」×2回音がして、満水・タンクなしランプが点滅)
停止後、ヒーター部の冷却のため約3分間送風ファンが作動します。
- タンクの除湿水が満水(約2.0L)になると、自動的に運転が停止します。
(「ビピッ」×2回音がして、満水・タンクなしランプが点滅)
このとき、タンクをはずしても音は鳴りません。満水・タンクなしランプの点滅表示のみです。

- 満水時、タンクの重さが約2.5kgになります。取り出すときは十分に気をつけてください。
- タンクを運ぶ際は、タンクを両手で支えてゆっくり運んでください。



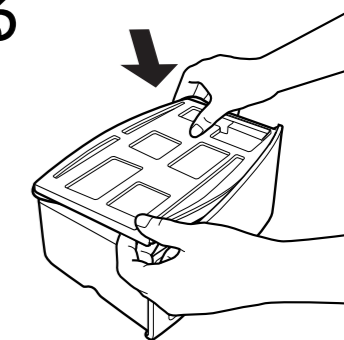
2 タンクカバーをはずす

タンクを持ち、タンクカバーのミミ部からはずしてください。



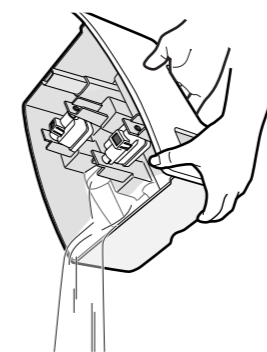
4 タンクにタンクカバーを取りつける

しっかりと確実に取りつけてください。



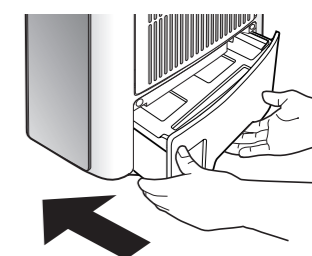
3 タンクの水をすてる

タンクの水をすてる際は、右図のようにタンク後ろ側からすててください。
(タンク前側から水をすてると、水もれの原因になります。)



5 タンクを静かに取りつける

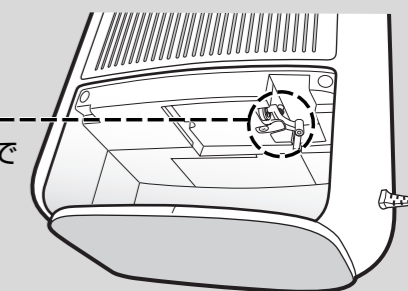
タンクをゆっくり本体に押し込み、満水・タンクなしランプが消灯したことを確認してください。



ご注意

- タンクカバーは必ずタンクに取りつけてください。水もれの原因になります。
- タンクを取り出した後、上部手前(右図参照)に触れないでください。本体内部にたまった水が出てくる場合があります。
- 本体を移動するときは運転を停止し、必ず水をすててください。タンク内の水が振動で床などにこぼれることがあります。

ここに
触れないで



お手入れ



警告

お手入れをするときは、「運転入/切」キーを押して運転停止し、約3分間経過後、送風ファンが停止してから差込みプラグを抜いて行ってください。

本体

どこでもホース

- ①水で薄めた台所用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取る
- ②水をかたくしぼった布でふく
- ③乾いた布で水気をふき取る



ホースアタッチメントA

ホースアタッチメントB

靴アタッチメント

ブーツアタッチメント

- ①水洗いする
- ②水分をよくふき取る

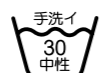
お願い

- お手入れのときは次のものは使わないでください。
 - ・40℃以上の湯
 - ・揮発性のもの(ベンジン、シンナー)、みがき粉
 - アルカリ性洗剤など

ふとん乾燥マット

- ①中性洗剤を入れたぬるま湯で軽く押し洗いする
- ②洗った後はよくすすぎ、かげ干しする

- 右記の表示をお守りください。



手洗い



漂白剤は使わない



アイロンをかけない



かげ干し

フィルター

(2週間に1回程度)

- フィルターの目詰まりは、除湿能力が低下し、電気代のムダや故障の原因になります。
- 必ずフィルターを取りつけてください。フィルターを取りつけずに運転すると、本体内部にほこりがたまり、故障の原因になります。

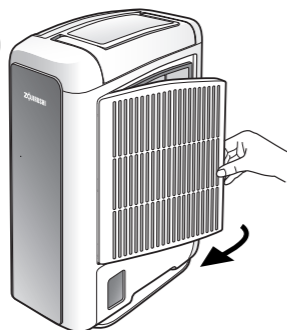
左図のように掃除機の細いノズルで汚れを吸い取ってください。

汚れが目立つ場合

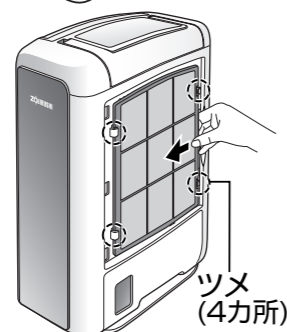
- ①中性洗剤を薄めた水に浸し、汚れを流し出す
- ②水道水で洗剤を流し落としてからよく乾燥させる

フィルターの取りはずしかた

- ①フィルターカバーをはずす
フィルターカバーの
とっ手に指をかけ、
矢印の方向に
はずします。

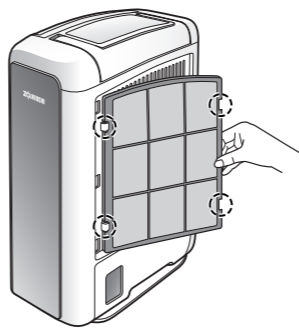


- ②フィルターをはずす
フィルターの端を軽く
押しながら、ツメ(4カ所)
からはずします。
●無理にはずすとフィルターが、
破れることがあります。
ていねいにはずしてください。

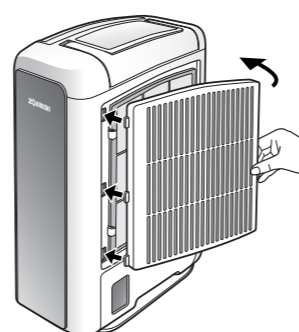


フィルターの取り付けかた

- ①フィルターを本体に取り
つける
本体に4カ所あるツメに
フィルターを差し込みます。



- ②フィルターカバーを
本体に取りつける

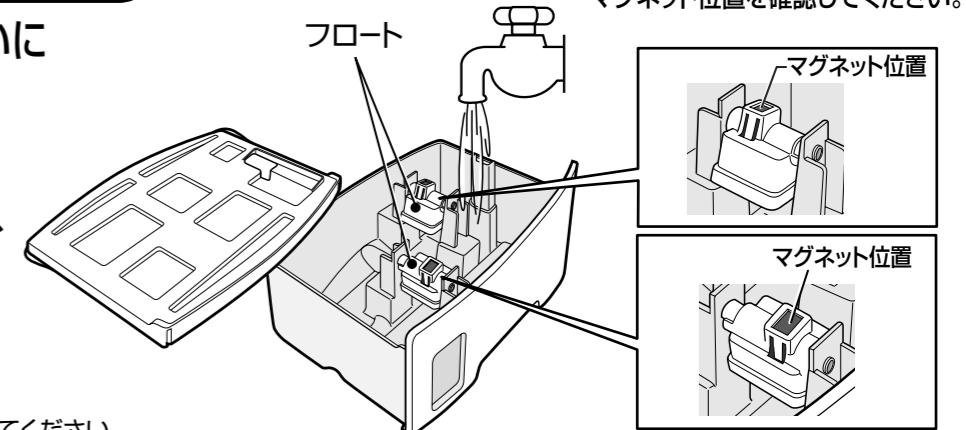


タンク

タンクカバー

タンクが汚れたら、きれいに洗ってください。

- ①水洗いする
- ②水分をよくふき取って、取りつける



フロートが正しく取り付けられた状態
マグネット位置を確認してください。

- 必ずタンクカバーをタンクに取りつけてください。
- お手入れ後はタンクを確実に取りつけてください。正しく取り付けないと運転しません。
- タンクに灯油や熱湯を入れしないでください。
- フロートは絶対にはずさないでください。はずれていたり、正しく取り付けられていないと運転しません。はずれた時は正しく取り付けてください。
- フロートは絶対に分解しないでください。(水もれの原因になります。)

ご注意

- お手入れのときに次のものは使わないでください。
 - 40℃以上の湯
 - 揮発性のもの(ベンジン、シンナー)、みがき粉など
- タンク・タンクカバー・フィルター・フィルターカバー・コードホルダー・ホースアタッチメントA・B・靴アタッチメント・ブーツアタッチメントなどを食器洗い乾燥機や食器乾燥器に入れしないでください。



長期間ご使用にならないとき

- ①差込みプラグを抜き、フラップを閉じてください。
 - ②本体が冷めるまでしばらく放置しておきます。
 - ③タンクの水をすてた後、タンクを再びセットします。
 - ④内部にたまっている水を落とすため、本体のフィルター側を軽く10回程度たたきます。
 - ⑤本体を前後左右に数回、傾けます。
 - ⑥水が落ちきってから再びタンクの水をすてます。
(落ちてくる水がなくなる場合は、④、⑤の作業を再度行ってください。)
 - ⑦フィルターを掃除します。
 - ⑧半日ほど自然乾燥させます。
 - ⑨ほこりが入らないようにポリ袋をかぶせて保管します。
- 本体は必ず立てたまま保管してください。
寝かせて保管すると本体内部に残っている水が外部に出ることがあります。



故障かなと思ったとき

操作部にこんな表示が出たら…(異常表示) ●対処しても、繰り返し表示が出るときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

<p>表示</p>	<p>原因</p> <p>転倒異常です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●不安定な設置をしていませんか? ●本体を倒していませんか? 	<p>処置</p> <ol style="list-style-type: none"> ①差込みプラグを引き抜く ②安定した台の上ののせる ③差込みプラグを差し込む ④「運転入/切」キーを押す
<p>表示</p>	<p>原因</p> <p>温度異常です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●押し入れの中など狭い場所で使っていませんか? ●使用温度範囲(1~40℃)以外で使用していませんか? 	<p>処置</p> <ol style="list-style-type: none"> ①差込みプラグを引き抜く ②設置場所を変更する ③本体が冷めるまでおく ④差込みプラグを差し込む ⑤「運転入/切」キーを押す

●これらの原因以外で異常表示をした場合はお買い上げの販売店へご連絡ください。

<p>症状</p>	<p>原因</p>
<p>運転しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●差込みプラグがはずれていませんか? ●満水・タンクなしランプが点滅していませんか? (タンクが満水になっていませんか、タンクおよびフロートは正しく取り付けられていますか?)
<p>運転しない (運転途中で電源が切れた場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●運転開始後約12時間が経過していませんか? (安全のため、約12時間が経過すると運転を停止します。→P9参照) ●乾燥運転で運転していませんか? (乾燥運転で運転をした場合、乾燥を判断して自動的に運転を停止する機能があります。選択した運転コースにより停止するまでの運転時間は異なります。→P9参照)
<p>温風が出ない タンクに水がたまらない (除湿量が少ない)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●運転開始後約3分間経過していますか? (約3分間は、送風ファンのみ作動しています。) ●自動コースで運転していませんか? (自動コースの場合、湿度50%以下になると除湿を停止し、送風運転になります。) ●湿度の低い場所で使用していませんか? (湿度30%以下になると除湿を停止し、送風運転になります。) ●本体付近の温度が上がっていませんか? (安全のため送風運転になります。) ●フィルターが目詰まりしていませんか? ●吸込口や吹出口がふさがっていませんか? ●部屋の温度が低くありませんか? ●乾燥運転で運転していませんか? (乾燥運転で運転した場合、衣類の乾燥を判断して自動的に運転を停止します。)
<p>音がうるさい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●フィルターが目詰まりしていませんか? ●本体の置きかたが悪く、がたついていませんか? ●床が不安定ではありませんか?

<p>症状</p>	<p>原因</p>
<p>においがする においが取れにくい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●長期保管などで、本体内部ににおいが吸着しているときは、除湿運転/強コースでの運転を2~3時間程度行ってください。 (部屋の換気をしながら運転してください。) ●本体やフィルターをお手入れしてください。 ●使いはじめ吹出口からの風に、甘酢っぱいにおいがすることがありますが異常ではありません。ご使用とともに少なくなります。
<p>水がもれる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●フィルターが目詰まりしていませんか? ●フィルターを取りつけていますか? ●本体を傾けたり、倒したりしていませんか? ●フロートに異物が付着していませんか? ●フロートが正しく取り付けられていますか? ●タンクカバーが正しく取り付けられていますか?
<p>運転停止しても、送風ファンが動いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●運転停止後、約3分間経過していますか? (停止後、ヒーター部冷却のために約3分間は送風ファンが作動しています。)
<p>タンクが本体に入らない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●フロートが正しく取り付けられていますか? ●タンクカバーが正しく取り付けられていますか?
<p>オートスイングルーバーが動かない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●オートルーバー入/切ランプが点灯していますか? (「オートルーバー入/切」キーを押しましたか?) ●「布団」コースを選択していませんか? 「布団」コース選択時には、「オートルーバー入/切」キーを押してもオートスイングルーバーは動きません。 ●10秒程度様子を見てください。 「オートルーバー入/切」キーを押したときのオートスイングルーバーの位置によって、すぐに動かないことがあります。
<p>ふとん乾燥したのに乾燥していない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ふとん乾燥マットが折れたり、ねじれたりしていませんか? ●ふとん乾燥マットの向きは正しいですか? ●ふとん乾燥マットの上に重いものをのせていませんか? ●ふとんの種類や状態によっては乾燥しにくい場合があります。
<p>靴乾燥したのに乾燥していない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●靴アタッチメント・ブーツアタッチメントの向きは正しいですか?

●いずれの場合にもあてはまらない場合は、お近くの象印製品販売店または、弊社のお客さま相談窓口までお問い合わせください。

このような場合でも故障ではありません

症状	原因
除湿乾燥機を使用すると部屋の温度が上がる 本体が熱くなる	ゼオライト方式はヒーターの熱を利用しているため、運転中は吹出口より温風が出ます。従って、部屋の温度が少し上昇します。また、本体の上部など少し熱くなる部分がありますが、いずれも異常ではありません。
運転を開始してからタンクに水が落ちはじめると時間がかかる	使用状況によっては30分以上かかる場合もありますが故障ではありません。
吹出口より「ジジジ」と音がする	ルーバーを作動させるモーターの動作音で異常ではありません。

仕様

型名	RV-JX60							
電源	交流100V 50/60Hz							
定格除湿能力(50/60Hz)※1	除湿			乾燥				
	自動	強	静音	速乾	夜干し	布団	運動靴	靴・ブーツ
	3.3/3.3 L/日	5.1/5.3 L/日	2.2/2.2 L/日	5.1/5.3 L/日	2.2/2.2 L/日	-/- L/日	-/- L/日	-/- L/日
定格消費電力(50/60Hz)※2	435/440W							
平均消費電力(50/60Hz)※3	260/260W	435/440W	195/195W	435/440W	195/195W	260/260W	260/260W	195/195W
運転音(50/60Hz)	40/40 dB	46/50 dB	32/31dB	46/50 dB	32/31dB	39/39 dB	41/43 dB	44/47 dB
除湿可能面積の目安※4	6~10~13畳(10~16~21m ²) (木造住宅~プレハブ住宅~コンクリート住宅)							
タンク容量	約2.0L (自動停止容量)							
製品質量	約5.3 kg							
製品寸法	幅約17.5×奥行約 30.5×高さ約44.5 (cm)							
電源コード	1.5m							

※1 定格除湿能力は、室温20℃、相対湿度60%を維持した部屋で強コースにて1日連続運転した時の除湿量です。

※2 定格消費電力は、運転中の最大の消費電力を表示しています。

また、運転を停止しても、差込みプラグが差し込まれていると約0.6Wの電力を消費します。

※3 平均消費電力は、室温20℃、湿度60%を維持した部屋で運転した場合です。

※4 除湿可能面積の目安は、JEMA(日本電機工業会)規格に基づいた数値です。

●日本国内交流100V専用(定格100V以外の電源では使用できません。)

アフターサービス

1 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3 修理をお申しつけされる時

《保証期間中》

製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

《保証期間を経過しているとき》

修理すれば使用できる商品は、ご要望により有料修理いたします。

4 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後5年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

●お客様ご自身での修理、分解や改造は絶対に行わないでください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答などでお困りの場合、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地、電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター  **0570-011874**

ナビダイヤル 市内通話料金でご利用いただけます

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日、弊社休業日を除く)

●携帯電話・PHSの方はこちらへ Tel (06)6356-2451

●ファクシミリでのお問い合わせ Fax (06)6356-6143

製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

便利メモ

■お買い上げ日 ■販売店名

おぼえのため、記入されると、便利です。

年 月 日 TEL. ()